

モード Mode Mode は語る

中野 香織

赤ワインをこぼしても、拭くだけで元に戻る「汚れない」白ジーンズ。摩耗に強く、穴が開いたら新品交換という永久交換保証付きのビジネスソックス。服の機能への期待を超えた感動アイテムの数々が、すべて国内工場生産されたものと知ってさらに驚く。

プロデュースするのは、工場直結ブランド「ファクトリエ」を運営するライフスタイルアクセント（熊本市）である。2012年に、熊本の洋服店の息子として育った山田敏夫さん（35）が創業した。世界に通用するブランドを創るため、「もの作りを

工場直結ブランド

国内の技術力、顧客が宣伝



和歌山市の和田メリヤス
で語り合う山田さん^⑤

する」工場を主役にすることに焦点を絞った。ネットで工場と消費者を直接つなぎ、流通・広告・販売コストを削ることで、工場により多い利

益が回るシステムを作り上げた。

製品タグには、Factelierという文字の下に、それぞれの工場名が入る。無名だが、実は海外有名ブランドはじめ、国内の主要アパレル会社の製品を作ってきた工場ばかりである。山田さんは各地の駅に降り立ち、タウンページから工場を探し、600を超える現場に足を運んで55社と契約した。タウンページで探したのは、ホームページすら持たない工場が多いため。インターネットで作業風景や職人を紹介したことで、日陰に甘んじていた工場は誇りを取り戻した。適正価格で世界最高水準の技術

力を発揮できる良き循環が生まれ、若い人の就職も増えた。

広告費ゼロでも知名度を高めているのは、背後のストーリーに共感した顧客が熱狂的なファンとなり、勝手に交流サイト（SNS）で宣伝しているためだ。山田さんが「革命の同志」と呼ぶそんなファンを増やすために、ファクトリエは「まあまあ好かれる」という顧客満足の基準を排し、「顧客熱狂」のレベルに届くまで職人と工夫を重ねる。

ファクトリエが高い技術力をもつ工場を応援し、その姿勢に感動した顧客が応援する。そのような応援経済の輪が生む「語りたくなる服」は、誰かを応援するという行為そのものが、心の豊かさを与えてくれるのだとも教えてくれる。（服飾史家）